

「のめり込み問題」対策 最前線 / RSN訪問レポート



RSN 西村代表から説明を受ける参加者。

東遊商理事役員23名がRSNを訪問。 相談業務等について理解を深める。

ばちんこ依存問題相談機関「認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）」の取り組みについて理解と見識を深めるため6月30日、東遊商理事役員23名が沖縄県中頭郡のRSN事務局を訪問しました。

最初にRSN代表理事の西村直之氏が「東遊商をはじめとする関係団体には活動への理解・支援をいただいていることに感謝したい。当組織は今年で設立10年という節目を迎えるが依然、依存問題に悩む方は多く、RSNの活動は非常に重要だと考えている。また、昨年8月に日工組との共同事業として全商協事務局内に『全商協RSN支援室』が開設されたことは、相談事業の円滑な運営につながるなど大変意義あることであつたと思う」と挨拶。

次いで中村理事長が「実際に相談業務の様子やその内容に触れることで業界の健全化に向け今後、どのような取り組みが必要なのかを考えてほしい」と参加した役員に呼びかけました。

その後、RSN側から昨年度の活動報告書を資料にした解説や過去の電話相談内容等についての説明が行われました。

